

1 平成29年度に実施した自校の学力調査結果 (単位:%)

平成29年 7月20日
墨田区立押上小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	83.1 81.0	65.6	71.7 71.8	68.1	67.0 68.3	65.6	77.8 76.4	65.6	75.3 70.6		
	話す力・聞く力	71.0	77.5 75.3	63.0	70.9 67.8	71.1	69.7 70.6	75.0	88.0 87.4	60.0	70.7 67.6		
	書く力	78.1	86.8 84.8	65.6	71.7 74.3	61.4	59.7 62.3	58.5	72.8 70.2	67.3	76.6 70.0		
	読む力	66.4	69.0 69.6	64.3	74.6 70.9	63.9	73.7 68.9	73.4	81.6 79.7	72.2	79.3 78.3		
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	94.3 95.7	80.9	88.1 89.1	67.4	65.1 72.8	68.4	73.3 72.9	69.2	74.8 74.9		
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					64.5	60.5 62.9	66.0	70.8 68.5	64.2	67.5 68.5	※全国学力・ 学習状況調査 の結果につき ましては、10月 下旬までに公 表する予定で す。	
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	63.0 65.5	65.2	68.1 68.4	65.0	67.2 67.7		
	観察・資料活用 の技能					71.3	71.2 75.1	67.9	70.2 69.0	69.4	69.5 72.2		
	社会的事象につい ての知識・理解					76.4	76.0 78.6	70.2	76.3 71.8	68.3	71.0 70.9		
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	65.2 66.5	56.5	57.3 58.2	67.5	69.0 71.0	59.3	66.4 62.8	40.0	37.8 37.2		
	数学的な考え方	70.7	69.3 72.5	63.9	66.9 68.6	60.6	64.4 66.1	60.2	58.6 63.8	56.1	52.5 56.1		
	数量や図形に ついての技能	82.5	85.3 86.2	76.9	75.9 80.0	76.1	76.1 79.8	71.4	71.7 74.2	71.0	68.4 71.7		
	数量や図形につい ての知識・理解	83.1	81.3 84.6	69.8	71.7 75.6	74.0	76.6 77.0	70.3	71.1 72.6	68.6	64.3 69.9		
理科	自然事象への関 心・意欲・態度					67.7	61.8 73.0	61.1	64.4 66.3	70.4	73.5 77.2		
	科学的な思考 ・表現					58.4	55.4 62.5	54.8	52.8 56.3	62.6	61.1 67.7		
	観察・実験の 技能					64.4	54.1 66.5	71.3	78.3 79.3	60.0	51.1 64.4		
	自然事象につい ての知識・理解					67.2	63.7 71.5	66.3	69.0 70.7	68.2	68.1 73.1		

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比べ、全体的に目標値以上の観点が大幅に増え、目標値より5ポイント以上下がっている観点が大幅に減った。学習の基礎基本が定着しつつあることがうかがえる。 ・国語科は、4年生を除き、どの観点においても目標値を超え、5ポイント以上超えている観点も多くなった。校内研究で国語「書くこと」の研究に取り組み、授業の工夫が行われたこと、漢字学習、朝読書、日記指導など繰り返し学習に取り組んだ成果が表れてきている。 ・算数科は、5年生までがどの観点でも目標値と同程度を達成できた。3年生以上の放課後学習、習熟度別指導による成果が表れてきている。 <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の理科「関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」、6年生の理科の「観察・実験の技能」の正答率が低くなっている。実験・観察を意図的、計画的に取り入れ、実感を伴った理解を深める指導の工夫がさらに必要になっている。 ・6年生の算数科が目標値を下回った。習熟度別学習を進めているが、高学年には、より細かな指導、個別学習などが必要となっている。 <p>◎改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の学習活動やステップ学習等で、既習学習の定着をさらに図る。 ・各教科において既習事項を活用した学習場面の設定や興味関心を深めるためのICTの活用の充実を行う。
--

※今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての学力向上プラン）を10月下旬（予定）までに公表いたします。